

# 英語英文学科

## 教育目標

英語英文学科は4年間徹底的に英語に取り組む学科です。国際化とIT化の進む現代において、グローバルなコミュニケーションの手段としての英語の重要性はますます高まっています。そのような社会の要請に応えられる優れた英語力を養成し、英語をツールとして使いこなす「運用力」を身につけることが本学科の第一の目標です。もうひとつの目標は、英語をアカデミックな対象として「研究する」ということです。英語の言語構造と機能をさまざまな角度から分析し、英語という言語が生み出した文学作品及び文化全般を研究することによって、英語を話す国々の文化・歴史・社会・思想の多面的理解を深めます。英語という外国語についての学びは、翻ってわれわれの言語である日本語とわれわれが生きる日本の社会と文化への意識を高めることにつながってもいくでしょう。このような学びを通して、広い視野と柔軟な思考力をもつ女性の育成を目指します。

## 学科が求める学生像

- 1 本格的に英語力を高めたい人
- 2 英語を通して人間の心と社会を見つめたい人

## 4年間の学び

英語力向上については、1・2年次に英語力に応じてクラスを4つに分け、英語の受信と発信の力を徹底的に養い、3・4年次の専門教育への土台を築きます。また、ALEC (Advanced Learners' English Course)を通じて高度な英語力を養う環境を設けます。毎年TOEIC試験を団体受験することで、英語学力向上のための目標を立てます。

専門分野の学びについては、1年次は、英米の社会と文化に関する基本的な知識を確実なものとし、2年次は、各専門分野の常識を身につけるための、専門用語の基本的な解説、研究領域の歴史的展望、文学作品の具体的紹介などを行い、3年次ゼミへの橋渡しをします。3年次は、各専門分野での研究法の実際を知得し、ゼミに所属して批評的態度を実感してもらい、資料収集のあり方、研究発表の段取りなどを体験して卒論執筆へとつなげていきます。と同時に、英米の絵画・音楽・映画・演劇などの文化的素養にもふれていきます。4年次は、卒論ゼミにおいて、各自の研究の具体的な成果としての卒論を書き上げます。ここで4年間の学習・研究・批評は一体化され、ことば(英語にせよ、日本語にせよ)による「表現」という文学部の大きな目標が完成されます。

## 履修モデル

### 1 英米文学・文化を中心に学ぶ

学年	全学共通科目	専門教育科目
1年	文学の世界 映像・演劇の世界 言語と文化 日本語A(文章表現)	基礎セミナー1,2 英語発音入門 英文法(基礎)1,2 英文講読(基礎)1,2 Extensive Reading (Basic) 1,2 ISEC イギリス入門 アメリカ入門
2年	哲学と思想 ポピュラー・カルチャーの世界	英文法(発展)1,2 英文講読(発展)1,2 英文学入門 1,2 米文学入門 1,2
3年		英文学(近代) 英文学(現代) 米文学(近代) 米文学(現代) Extensive Reading (Advanced) セミナー1,2
4年		英文学(特論) 米文学(特論) セミナー 3, 4

## 2 英語学を中心に学ぶ

学年	全学共通科目	専門教育科目
1年	言語と文化 日本語 A(文章表現)	基礎セミナー1、2 英語発音入門 英文法(基礎)1、2 英文講読(基礎)1、2 ISEC イギリス入門 アメリカ入門
2年	地域と文化	英文法(発展)1、2 英文講読(発展)1、2 英文学入門 1、2 英語学入門 1、2
3年	メディアと文化	英語学(音声・音韻) 英語学(意味・語用) 英語学(語法・文法) セミナー1、2
4年	哲学と思想	英語学(語彙・形態) 英語学(特論) セミナー 3、4 卒業論文

## 3 英語教育学を中心に学ぶ

学年	全学共通科目	専門教育科目
1年	言語と文化 日本語 A(文章表現)	基礎セミナー1、2 英語発音入門 英文法(基礎)1、2 英文講読(基礎)1、2 ISEC イギリス入門 アメリカ入門
2年	ポピュラー・カルチャーの世界	英文法(発展)1、2 英文講読(発展)1、2 英文学入門 1、2 異文化コミュニケーション1、2 英語科教育法 1
3年	世界の歴史と文化	英語科教育法 2、3、4 英語教育学(児童英語教育 1) 英語教育学(児童教育学 2) 資格英語 セミナー1、2
4年		英語実習指導 1、2 セミナー3、4 卒業論文

※「英語科教育法 1、2、3」は教職必修科目。受講するためには教職課程に登録する必要がある。また、英検 2 級に合格していることも必要。

## ALEC(Advanced Learners' English Course)の履修について

### 1 目的

英語英文学科では、英語圏の文学、英語学、英語教育学、英米の文化の 4 つを専門領域(PELLEC)として設定しています。ALEC(Advanced Learners' English Course)はこれとは別に設置し、これを履修する学生に国際社会に通用する高度な英語運用能力を身につけさせ、英語を必要とする進路(就職・進学)に送り出すことを目的とします。

### 2 履修と修了証

ALEC の履修は、どの専門領域を学ぶか、どの領域のゼミに所属するかに関係なく、本人の希望と英語力に基づいて認められます。修了証授与要件を満たした受講生には、卒業を待たずにその時点で文学部英語英文学科が発行する修了証を授与します。そのほか、修了証授与要件を満たす見込みの受講生<sup>1)</sup>には 3 年次末に「修了証授与見込」を発行します。

### 3 修了証授与要件

修了証授与要件は以下の 2 点です。

#### 1)履修科目

以下の 8 科目を必修科目とします。これらの授業は原則として英語で行われます。

Integrated English 1 A, Integrated English 1 B, Integrated English 2A, Integrated English 2B, TOEIC Preparation, Global Issues and Communication, Strategies for Speaking, Research and Presentation

また、以下の 1 科目を推薦科目とします。(なお、これは ALLEC 受講生以外の学生の履修も認められる科目です。)

「英語学(特論)」

## 2) 外部試験のスコア・級

TOEIC®L&R 785 点以上の取得、または英語検定準 1 級以上の合格。

### 4 定員と履修資格

1 学年の定員は 15 名。履修資格は、英検 2 級に合格、または TOEIC®L&R 520 点以上を取得、もしくは CASEC の 2 級相当スコア(620 点)を取得している こととします。履修登録は、原則として 1 年次の 4 月、または 2 年次の 4 月。履修希望者は、英語英文学科教務委員に申込用紙と履修資格を証明する書類(合格証書またはスコア・レポート)を提出してください。

### 注

1) 3 年次末までに TOEIC®L&R 650 点以上を取得し、必修 8 科目中 6 科目 以上の単位を取得した受講生。